

問い合わせ先

海上保安庁総務部政務課政策評価広報室

海上保安報道官 一條 正浩

03 - 3591 - 9780 (直通)



平成22年4月30日

海のもしもは118番

～運用開始10周年～

平成12年5月1日に運用を開始した、海上保安庁緊急通報用電話番号「118番」は、平成22年5月1日で10周年となります。

平成19年4月1日以降、GPS機能付き携帯電話から、自動で位置情報が送付される機能も加わり、「118番」通報者が自身の位置を把握できない時等に、効果を発揮しています。

運用開始から平成22年3月31日までの有効通報件数は、52,246件でした。これにより、過去9年間で船舶5,959隻及び19,061人が救助されました。

「118番」通報により海難情報を入手する割合は年々増加している等、事件事故情報の早期入手に大きく寄与しています。

しかし、まだ「118番」を知っている人は100%でなく、特に釣り人は割合が低いこと等から、今後も「118番」の更なる周知啓発活動が必要です。

「118番」有効通報件数	52,246件(別添1項目参照)
(有効通報件数の内訳)	(月平均：一日平均)
事件に関する通報件数	16,177件(136件：4.4件)
船舶事故に関する通報件数	14,874件(125件：4.0件)
人身事故に関する通報件数	8,980件(75件：2.4件)
航行安全に関する通報件	5,708件(48件：1.5件)
その他	6,507件(55件：1.8件)

「118番」通報による救助隻数及び救助人数(別添2項目参照)
救助を必要とした事故の内、「118番」通報により、船舶5,959隻及び遭難者19,061人を救助(平成13年1月1日～平成21年12月31日の間)

「118番」を知っていますか?(別添3項目参照)

Yes: プレジャーボート等の乗船者 89%
釣り人(磯釣り、岸壁・防波堤釣り) 61%

(平成21年夏期の認知率調査の結果)

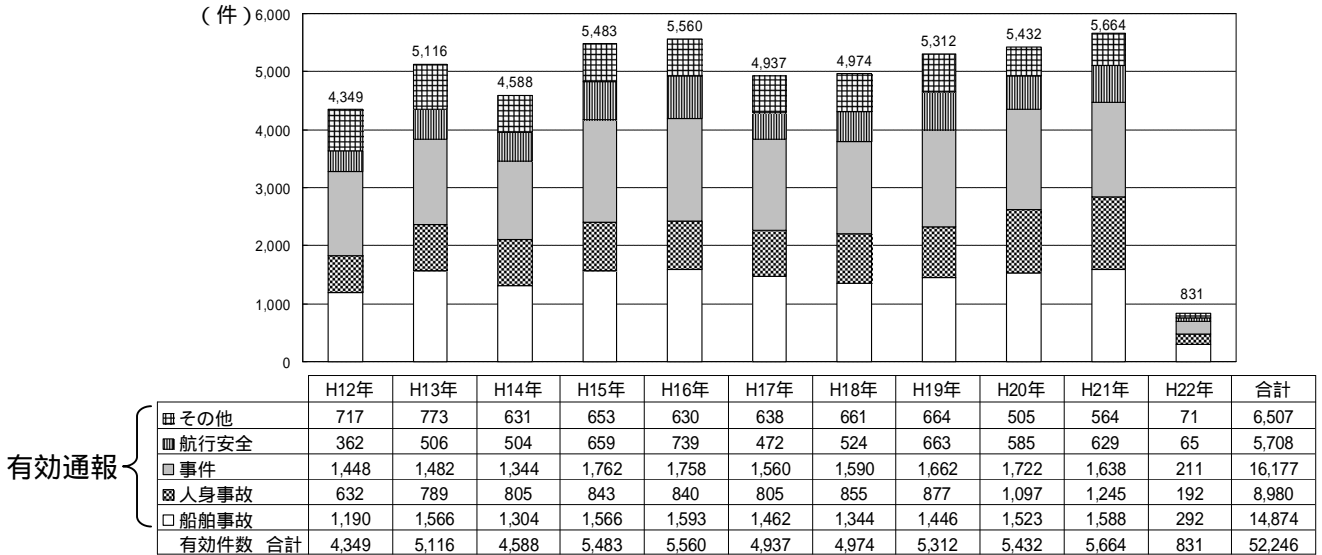
「118番」通報が功を奏した事例(別添4項目参照)

1 「118番」通報件数

平成12年は5月1日～12月31日の間、平成22年は1月1日～3月31日の間

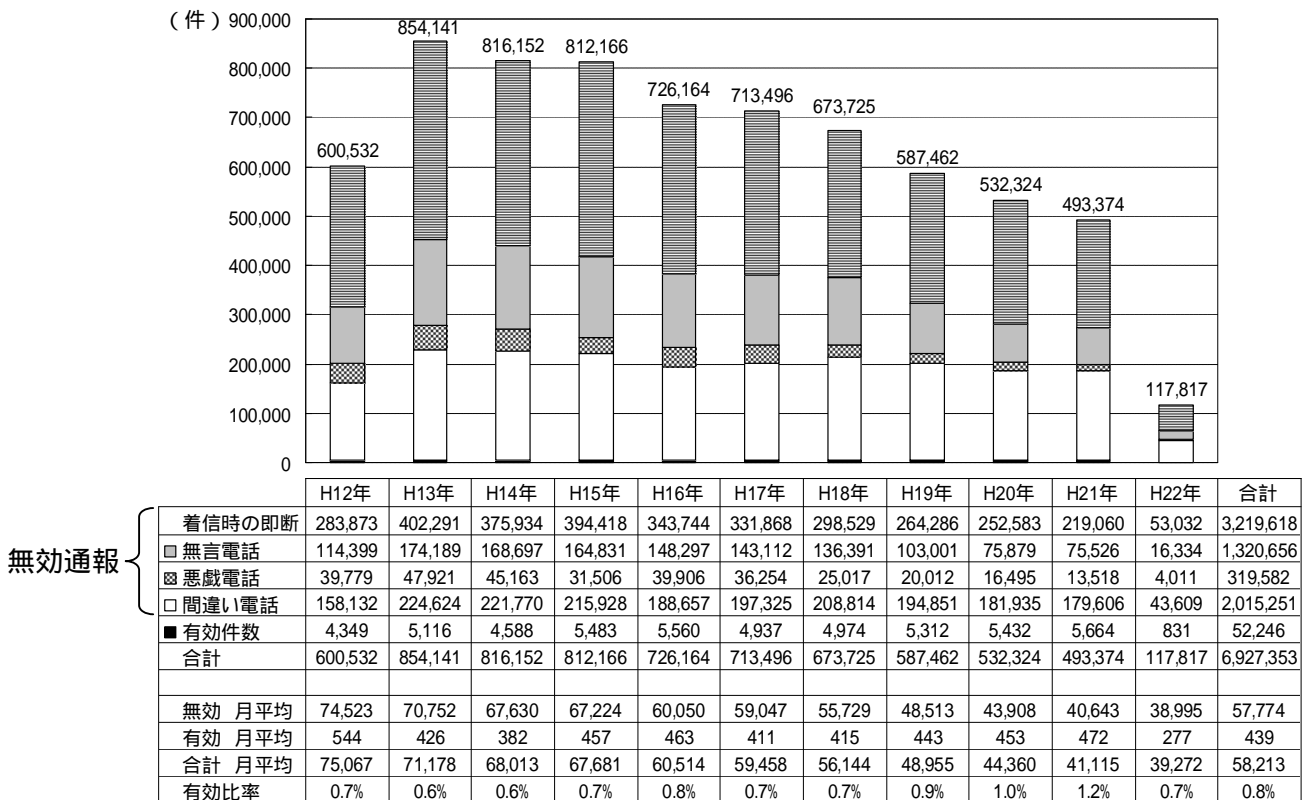
(1) 有効通報件数

平成12年5月1日から平成22年3月31日までの間に、当方が受けた「118番」通報件数のうち、事件・事故に関する通報件数(いわゆる有効通報件数)は毎年5,000件前後で推移しており、最も多いのは事件通報、次いで船舶事故通報、人身事故通報の順となっています。



(2) 総通報件数

「118番」の総通報件数は6,927,353件であり、間違い電話等の通報件数(いわゆる無効通報件数)が大半を占めているが、上記有効通報件数がほぼ横ばいであるのに比べ、無効通報件数が年々減少していることにより、有効通報件数の割合が増加しています。

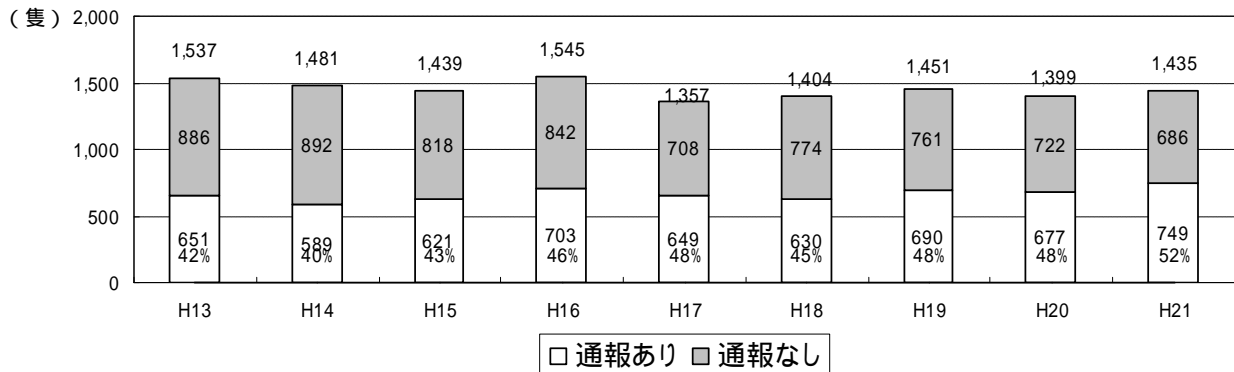


2 「118番」通報による救助隻数及び救助人数

「118番」制度化翌年の平成13年1月1日から平成21年12月31日時点

(1) 救助を必要とした船舶

救助を必要とした船舶事故13,048隻の内、「118番」通報により、海難船舶5,959隻(46%)が救助されました。



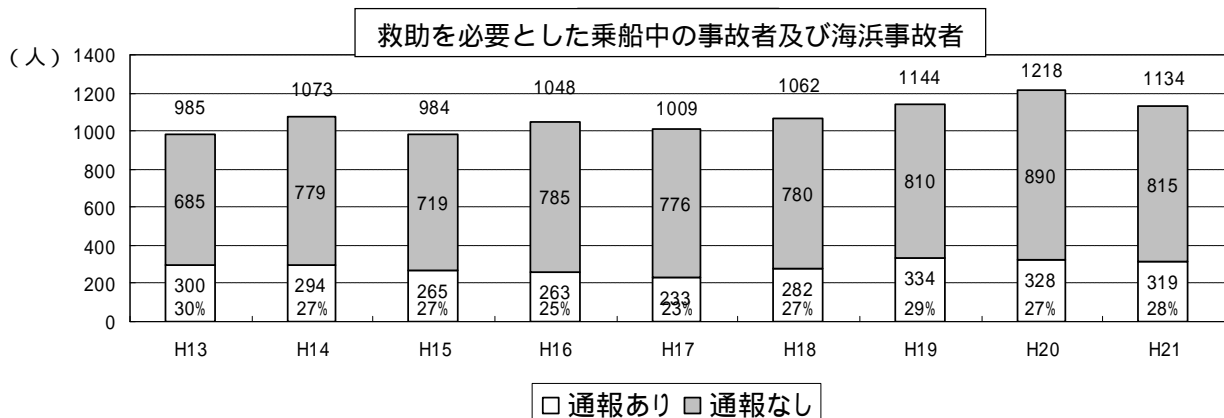
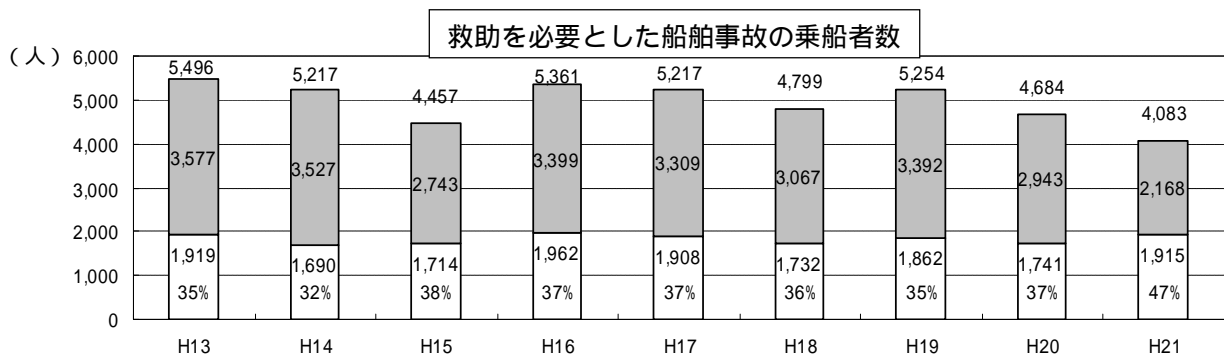
(2) 救助を必要とした遭難者

遭難者数：船舶事故の乗船者数、乗船中の事故及び海浜事故（岸壁からの海中転落等）の合計
救助を必要とした遭難者54,225人の内、「118番」通報により、19,061人(35%)が救助されました。

(内訳)

救助を必要とした船舶事故の乗船者44,568人の内、「118番」通報により、16,443人(37%)が救助されました。

救助を必要とした乗船中の事故者及び海浜事故者9,657人の内、「118番」通報により、2,618人(27%)が救助されました。



3 「118番」認知率調査

(1) 平成21年夏期調査(調査実施期間:平成21年7月1日~8月31日)

プレジャーボート等に乗船していた11,438人に対し調査したところ、「118番」を知っていた人は89%

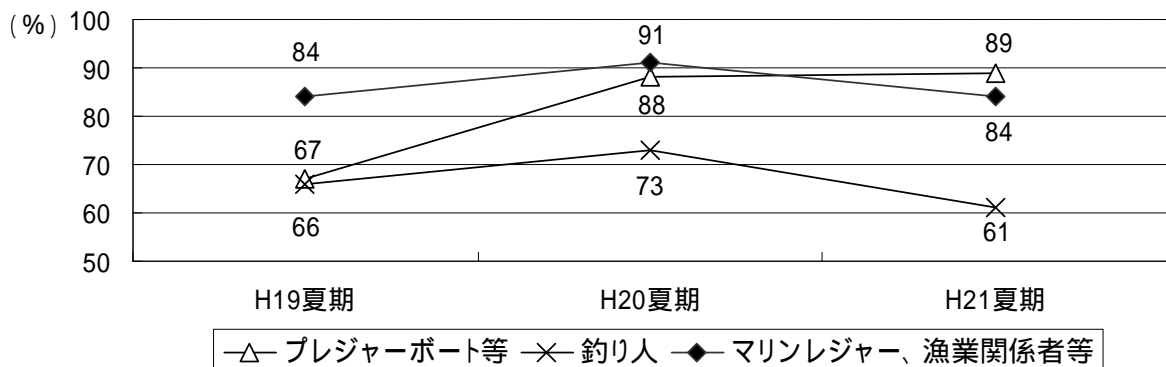
釣り人4,699人に調査したところ、「118番」を知っていた人は61%
マリンレジャー、漁業関係者等5,319人に調査したところ、「118番」を知っていた人は84%

	調査人数	知っている	認知率		調査人数	知っている	認知率
クルーザーボート	1971	1816	92%	磯釣り	709	525	74%
モーターボート	5138	4519	88%	岸壁・防波堤釣り	3990	2356	59%
ヨット	582	542	93%	合計	4699	2881	61%
水上オートバイ	1587	1339	84%				
その他	421	372	88%	マリンレジャー、漁業関係者等	5319	4455	84%
遊漁船	1739	1575	91%	マリーナ、マリン用品店、釣具店、漁協、遊漁船業者、関係団体等			
合計	11438	10163	89%				

その他:シーカヤック、ゴムボート等

(2) 「118番」認知率調査の推移(平成19年夏期~H21年夏期)

プレジャーボート等の乗船者は増加しており、マリンレジャー、漁業関係者等は高い認知率を推移しているが、釣り人については認知率が高いとは言えず、今後も「118番」の周知啓発活動が必要



4 「118番」通報が功を奏した事例

(1) 事件に関する通報

118番通報により、ナマコ潜水器密漁集団を現行犯逮捕

平成20年6月23日、北海道小樽港南防波堤先端に密漁者らしき集団がいる、との匿名の「118番」通報があった。

直ちに小樽海上保安部職員が現場に急行したところ、簡易潜水器(スキューバダイビング)にて、ナマコ約140キログラムを採っている6名を発見し、同6名を北海道海面漁業調整規則違反(無許可による潜水器漁業)の容疑で現行犯逮捕した。

118番通報により、アワビ密漁者を現行犯逮捕

平成20年12月3日、鹿児島県肝属郡付近在住の住民から、近くの海岸で潜ってアワビを密漁している者がいる、との「118番」通報があった。

直ちに志布志海上保安署職員が現場に急行したところ、採捕禁止期間中のアワビを採っている者を発見し、同人を漁業調整規則違反の容疑で現行犯逮捕した。

衝突逃走事件

平成21年8月14日、福井港沖において、プレジャーボートの乗船者3名が、接近する貨物船に危険を感じ衝突前に海に飛び込んだ。

貨物船はそのまま航行したが、海に飛び込んだプレジャーボート船長からの「118番」通報により、福井港を出港する船舶の中から、同貨物船を割り出し、福井海上保安署職員により、同貨物船に連絡し、停船させた。

(2) 船舶事故に関する通報

吹雪の中、GPS機能付き携帯電話の位置情報で漁船を救助

平成20年12月11日、北海道奥尻島沖で操業中の漁船1隻が、吹雪により自船の位置を見失い帰港できず、現在僚船が捜索中である旨、漁船の所属漁協から江差海上保安署に連絡が入った。

その後、漁船船長がGPS機能付き携帯電話を所持していることが判ったため、家族を通じて船長に対し、携帯電話で「118番」通報するように伝え、船長からの118番通報を受けて、GPSの位置情報により漁船の位置を特定し、巡視船が漁船を発見、無事救助した。

(3) 人身事故に関する通報

釣り中の海中転落者にクーラーボックスを投げ入れるよう指示し、無事救助

平成21年5月13日、新潟県糸魚川市において友人と2人で釣りをしていた者のうち1名が、移動中にバランスを崩し海中転落した。

友人は直ちに「118番」に通報し、通報を受けた第九管区海上保安本部運用司令センターは、海中転落者が救命胴衣を着用していないという情報を聞き、クーラーボックスを海中に投げ入れるように指示した。

海中転落者は、投げ入れられたクーラーボックスに掴まり浮力を確保し、その後無事救助された。

(4) その他の通報

唸り声を救助要請と気づき、救急車により病院に搬送

職員が「118番」通報を受けたところ、電話口で「う～ん、う～ん」と唸っていたため、一時、間違い電話か悪戯電話かと思われたが、通報を受けた職員が通報者の異常に気づき、「苦しいのか」「体が動かないのか」「救急車を要請したいのか」等と問い合わせると、「うん、うん」と返答することから、消防へ連絡し、救急車により病院に搬送された。

海岸沿い住民による、見慣れない船、灯火の通報

海岸沿いの住民から、「普段見かけない船や灯火を見た」等の通報があり、その都度、巡視船等により不審な船や灯火ではないことを確認する事例も見受けられる。特に日本海沿岸の住民は、危機意識が高く、普段見かけない船等を見た時の通報が多く見受けられる。

<通報例>

- ・ 変なところに船がいる、という通報により確認したところ、通常船がない場所に一般の船舶（通行船）が錨泊していた。
- ・ 沿岸で怪しい光を見たという通報により確認したところ、海岸で花火やたき火をしていた。

海上保安庁 緊急通報用電話番号「118番」

一般加入電話、携帯電話からの「118番」通報は、最寄りの各管区海上保安本部運用司令センターに、船舶電話からの「118番」通報は、本庁運用司令センターにつながります。

GPS機能付きの携帯電話からの通報は、「緊急通報位置情報通知システム」により通報者の位置情報が自動で表示されるため、迅速な救助活動を行うことができます。

なお、GPS機能が付いていない携帯電話からの通報は、電波を受信した基地局により通報者の概略の位置が表示されます。



1 1 8 番通報を受ける海上保安官